

※ 10月の家庭菜園

今月播く野菜の多くは年内取り野菜より、来春収穫する野菜が多いので、寒い冬を越す関係で播種する時期が難しくなります、すなわち、早播きし大苗で冬を越すと、とう立ちの心配があります。一方小苗で冬を越すと寒さで枯花する事がありますので適期に播く事を心掛けて下さい。

<軟弱野菜>

小松菜・法蓮草・春菊・中国野菜など葉物野菜は先月詳しく書きましたが、これから播いても充分間に合いますのでお正月まで何度か播いて下さい。

<キャベツ>

9月下旬 ~ 10月上旬播き、 4月下旬 ~ 5月上旬に収穫します。
キャベツの中でも一番軟らかくて美味しい春キャベツです。
苗が大きいようでしたら12月に定植し、苗が小さければ2月に定植します。
畦巾 45cm × 株間 45cmに一本植え。

<大根>

10月上旬 ~ 10月下旬播き、 1月下旬 ~ 2月に収穫します。
厳寒期の1~2月に収穫する大根です。
マルチング9227に3粒播き、10月下旬に播くと1月下旬頃トンネルが必要になります。

<ネギ>

10月下旬 ~ 11月上旬播き、 8月 ~ 9月に収穫します。
関東根深ネギ・関西九条葉ネギ・万能ネギ・下仁田ネギなどいろいろな種類がありますが今回は関東根深ネギの夏収穫する栽培方法を書いてみます。
一番気をつけなければいけないのはネギ、玉ネギ共に同じですが茎の太さと葉の枚数、すなわち早播きして大きな苗が寒さに当たると花芽が出来ます、生育はそこで止まり、春、気温が上がり花が咲きますと収穫が出来ません。遅く播くと小さな苗で花は咲きませんが寒さで枯れてしまいます。
植え替えは4月頃、3~5cmに1本ずつ植えて、少しずつ土寄せして白根を作ります。

<玉ネギ>

10月上旬 ~ 10月中旬直播き、 6月に収穫します。
玉ネギも大苗になりますと花が咲きますので播く時期を注意して下さい。出来るだけ薄く播いて下さい。10cmに1本になるように播き、混んでいる所はおろ抜いて下さい。もし小さな玉ネギでも良ければ抜いた苗を植えても出来ると思いますので試してみてください。

<サヤエンドウ>

10月下旬 ~ 11月上旬播き、 5月 ~ 6月に収穫します。
豆が出来る前の若い莢を食べます、莢も大・中・小があり、花の色も赤花と白花とがあります、白花の方が柔らかいかもしれませんが赤花の方が寒さに強く栽培しやすいです。

<ソラマメ>

10月下旬 ~ 11月中旬播き、 5月中旬 ~ 6月下旬に収穫します。
一番大莢は一寸ソラマメ、小粒な早世ソラマメ、中粒の輸入種などがあります。
以上、昨年11月の「家庭菜園」にも書いてありますので参考にして下さい。

<ニンニク> (後半)

9月下旬 ~ 10月上旬播き、 6月下旬 ~ 7月中旬に収穫します。
病虫害や傷のない種球を選び、りん片を1つずつ離します。植え付けはりん片の頂部を真直ぐ上に向け5cm位の深さに植え付けます、余り深植えにすると芽の出が遅く、生育も遅れます。
芽が出たら一株から2~3芽が出ている生育の良い方を一芽残して早めに摘み取ります。
球が肥大する、生育最盛期になると、とうが立ちますので葉の上から茎を早めに摘み取り肉と炒めると大変美味しく頂けます。
収穫は葉や球の状況を総合的に見て時期の判断をする必要があります。
下の葉が2~3枚黄化した頃か、茎の太さが上下同じようになった頃収穫の適期になりますので、晴天日に行い、2~3日干して根と茎を10cm位に切り、10~20球を一束にして風通しの良い納屋、軒下の日陰につるし乾燥させます。

10月下旬～11月上旬

1) サヤエンドウ、スナックエンドウ、グリーンピースなど、豆類がまだ播くことができます。

株間25cm～30cmぐらいに5粒～7粒重ならないように播いて下さい。

畦幅は60cm～100cm程度にし、広い方が収穫が楽に出来ます。

* 支柱をするやり方は、その時期になりましたらお知らせします。

2) そら豆

種を親指と人差し指でつまみ、お歯ぐろを下に向け、土の中に種が見えなくなるまで押込んで下さい。

株間は1粒まきは15cm間隔に、2粒まきは30cm間隔に播きます。

畦幅は45cmにして下さい。

えんどう類、そら豆は背丈15cmぐらいで越冬するのが栽培のコツです。